

## 2013 年度活動報告 初等部訪問

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. 目的

日本・東アジア研究プログラムでは、2008 年より関西学院大学初等部への訪問を行っており<sup>1</sup>、初等部の 4 年生と英語や日本語で交流している<sup>2</sup>。訪問の目的は、①留学生が普段接することが少ない年齢層との交流を図ること、②日本の小学校の見学、③異文化理解の促進を図ることである。

### 2. 2013 年度の活動内容

初等部訪問プログラム実施にあたり、7 月下旬に初等部英語担当教員 2 名とセンター教員 1 名が事前の打ち合わせを行った。訪問日時や学生募集スケジュールの決定、改善点の再共有を行った。

2016 年 1 月 21 日に 37 名、26 日に 24 名の留学生が初等部を訪問した<sup>3</sup>。両日に参加した留学生は 11 名である。21 日は 4B、4C クラスとの交流、26 日は 4A クラスとの交流を行った。

21 日のスケジュールは以下のとおりである。

9:15 宝塚南口駅集合

9:45 初等部到着、留学生の集合写真撮影

10:00-10:45 初等部紹介、授業見学

11:00-11:45 英語での校内案内（4B）

交流授業（4C）

11:55-12:35 交流授業（4B）

英語での校内案内（4C）

12:35-13:05 昼食（4A・4B）

13:05-13:25 フリータイム（4A・4B）

13:30-13:50 アンケート、児童へのメッセージ記入

14:00 初等部前で解散

<sup>1</sup> 2008 年度から 2013 年度は年度に 2 回（①11 月下旬～12 月初旬に 3 日にわけて 3 クラスと交流。基本的に全学生が参加。②1 月に 2 日にわけて 3 クラスと交流。希望者のみが参加）、2014 年度からは年度に 1 回（1 月に 2 日にわけて 3 クラスと交流）訪問している。

<sup>2</sup> 2008 年度から 2012 年度は 3 年生との交流を行っていたが、初等部側からの希望で、2013 年度から 4 年生との交流に変更した。

<sup>3</sup> 21 日は交換学生 36 名、経営戦略研究科留学生 1 名、26 日は交換学生 24 名が参加した。

初等部教員による初等部紹介、授業見学、児童の英語による校内案内を通じて、留学生は日本の小学校や私学の特徴ある教育等について、実際に目にすることができた。交流授業では、留学生の名前や出身、好きな日本の食べ物、国で有名な食べ物などを児童と英語でやりとりをした。13 か国の留学生が参加しており、英語母語話者ではない留学生も多いが、用いられる英語はあまり難しいものではないため、問題なく交流できる。また、英語母語話者でない留学生の不安解消のため、児童からの質問は、初等部教員より事前に知らせてもらい、募集段階で留学生に知らせた。また、留学生の出身地についての写真を見せながら、簡単な英語や日本語で児童に紹介した。フリータイムでは玉入れを体験したが、玉入れが初体験という留学生がほとんどであったため、児童以上に真剣にそして楽しんで玉を投げ入れる留学生の姿が見られた。

活動終了後に記入したメッセージは、初等部の教室で掲示できるようクラスごとに台紙にはり、後日初等部へ送付した。アンケート結果と引率教員の気づきをまとめたものを初等部の教員に送付し、今後の改善につなげられるようにしている。

### 3. 成果と今後の課題

活動終了後に留学生を対象にアンケート<sup>4</sup>を行った。初等部訪問の楽しさについては、「とても楽しかった／楽しかった／どちらともいえない／楽しくなかった／全然楽しくなかった」の5段階評価で、「とても楽しかった」が82%、「楽しかった」が18%、留学生にとっての初等部訪問プログラムの良さは、「とてもいい／いい／どちらともいえない、／あまりよくない／全然よくない」の5段階評価で「とてもいい」が72%、「いい」が22%、「どちらともいえない」が6%であった。アンケート結果からも、満足度が高いことがわかる。肯定的なコメントの中で圧倒的多数を占めたものは、日本の小学校について学べた点がよかったという意見であった。

プログラムの改善希望点として一番多かったのが時間に関するもので、21日に参加した11名<sup>5</sup>の学生からの要望であった。21日はフリータイム後のクリーンタイムで児童が掃除に行き、別れのあいさつがきちんとできなかったということも影響していると思われる。26日はフリータイム後のクリーンタイムまで交流し、別れのあいさつができたため、改善希望が出なかったのではないだろうか。初等部の授業との関連から交流時間をさらにのばすことは難しいだろうが、児童との交流にクリーンタイムまで含めることや、各活動時間にかかる時間を変更する等の対応は可能ではないかと思う。その他の要望も含め初等部側と情報共有を行い、来年度の初等部訪問をよりよいものにしていきたい。

<sup>4</sup> 両日参加の学生は初日のみ回答。回答者は21日37名、26日13名の計50名。

<sup>5</sup> 子どもたちとの交流時間を長くしてほしい：7名、子どもと話す活動時間を長くしてほしい：2名、各活動にかかる時間を変更してほしい：2名